

1 単 元 名 虫をさがそう

2 指導要領の目標と内容

(1) 目 標

身近に見られる生物を探したり育てたりさせて、生物の生活の仕方及び育ち方に気付かせるようにするとともに、生物に親しむ楽しさを味わわせる。

(2) 内 容

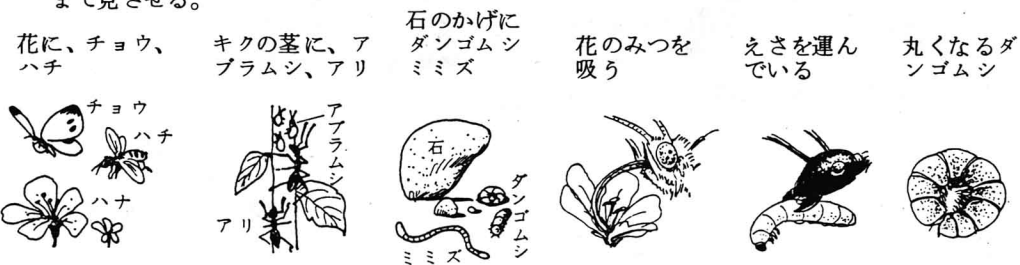
草むら、水中などの動物を探したり工夫して飼ったりさせながら、それらの食べ物、住んでいる場所、動きなどに違いがあることに気付かせる。

3 活 動 例

野外にはいろいろな虫がいることに気付かせ、虫の居場所、動きなどに興味、関心を持たせる。

例1 校庭や野原にどんな虫がいるか探険に行こう。(図1)

※ いろいろな虫に目を向けさせ、それぞれ虫の好きな場所、好きな食べ物、動きなどを自然のままで見させる。



(図1) (2年算数理科 第1法規)

例2 野外で虫とりをしよう。(図2)

※ 採集する数や危険防止については十分留意する。危険のない虫としてはコオロギ、バッタ、トンボ、チョウ、テントウムシ、ダンゴムシ、アリなどが考えられる。



(図2) (初等理科教育)

虫は種類によって住んでいる場所、体の形や動きに違いがあることに気付かせ、虫に親しみをもたせる。

例1 虫となかよしになろう。

- アリの行列について行こう。

※ 体の様子、動き、えさ、巣などに目を向けさせる。